

# 発注企業動向調査結果

-2017.1-

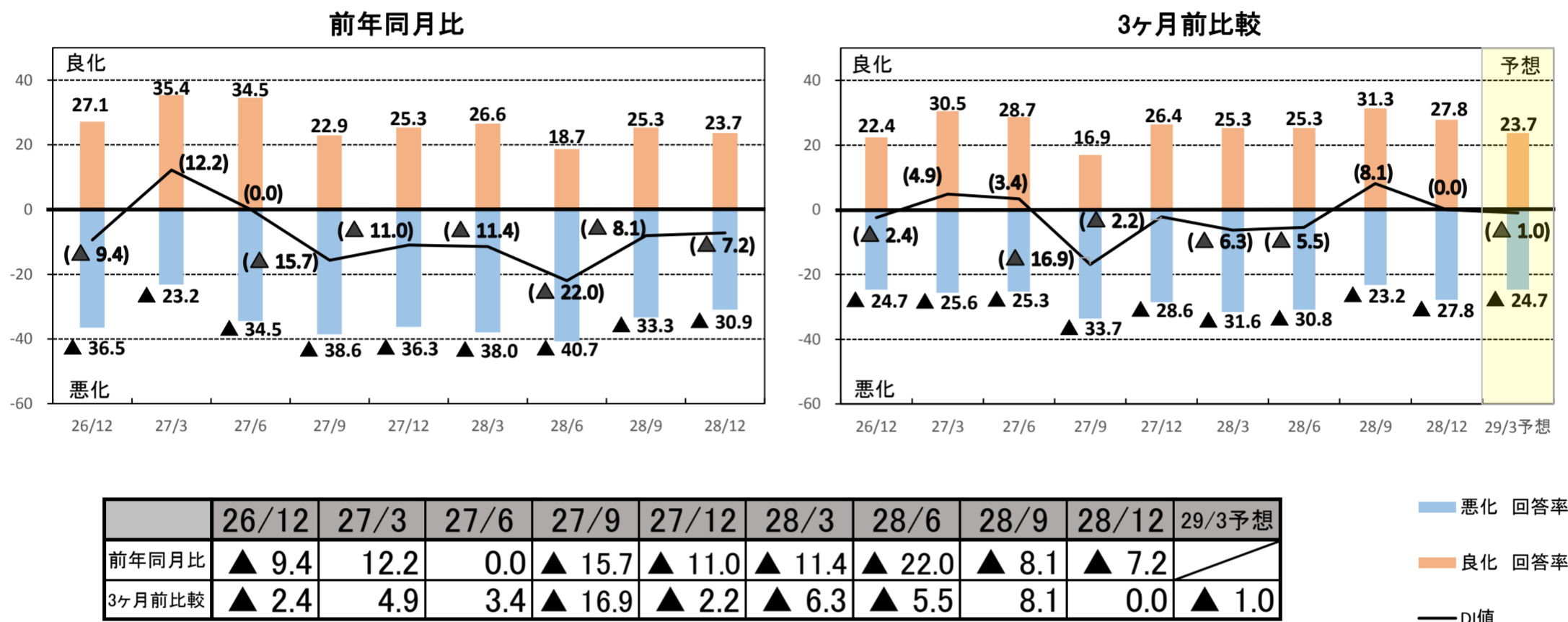
- 調査時点 平成28年12月調査(平成28年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 97社(回答率:64.67%)

## <業種内訳>

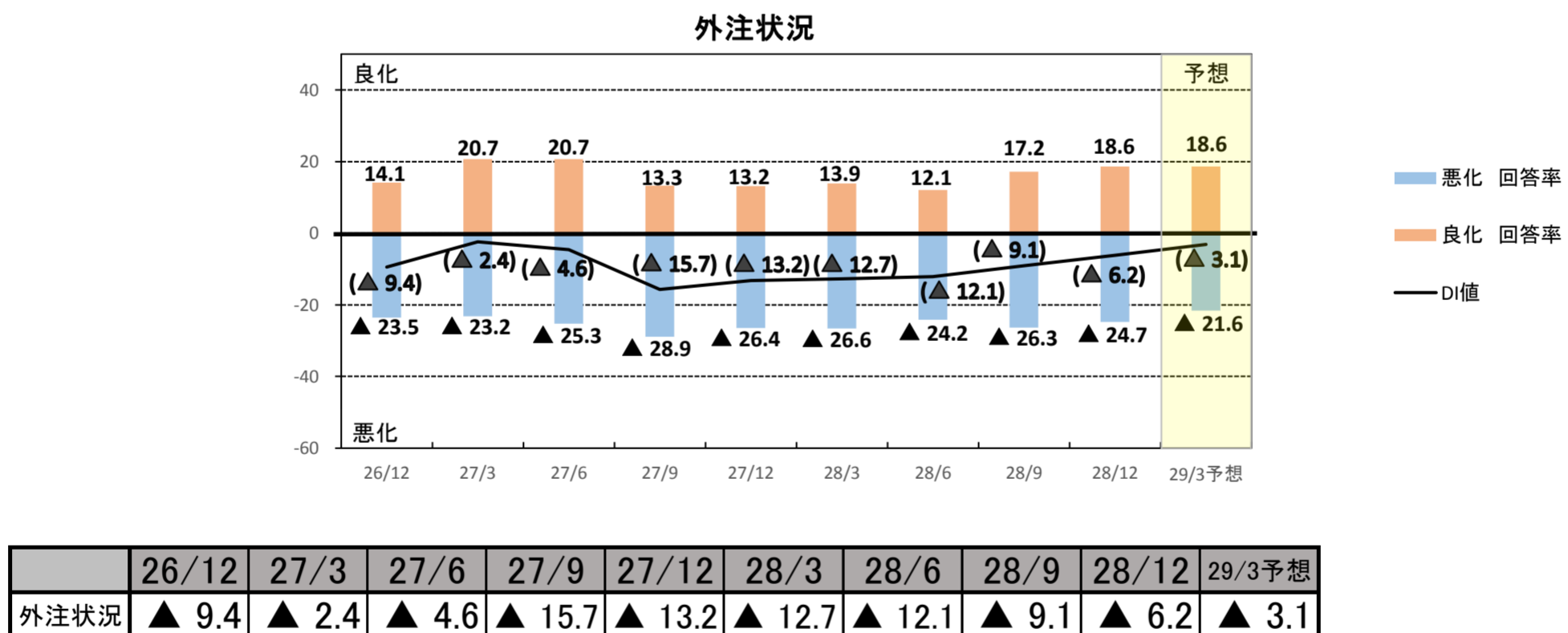
プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	12社
一般機械器具	20社
電気機器	22社
輸送用機器	19社
精密機器	3社
縫製	4社
計	97社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

## ●生産高



## ●外注状況



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲7.2で前回の▲8.1から0.9ポイント増で横ばいとなった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは0.0で前回の8.1から8.1ポイント減で悪化となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲6.2で前回の▲9.1から2.9ポイント増で良化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲1.0で1.0ポイント減の横ばい、外注状況が▲3.1で3.1ポイント増の良化となった。
- ・全体的に大きな改善は見られず、逆に受注量の減少や今後の見通しが不透明といった声が多く聞こえた。また、以前から人材不足の問題が継続しており、仕事量拡大への妨げになっている。